

「親子で学ぶ農林水産業見学体験ツアー in 檜葉」を開催しました。

小学生とその保護者を対象に、生産者の皆さんとの交流や収穫体験などを通して、双葉地方の農林水産物に対する安心を深めてもらうとともに、農林水産業の再開状況や取組状況を参加された親子に理解してもらうことを目的に、親子で楽しみながら学べる日帰りバスツアーを令和2年11月8日に実施しました。

小学生と保護者8組20名の参加があり、初めに木戸川漁業協同組合のやな場、サケふ化場を見学し、震災時の被災状況・サケ漁の再開及び近年のサケ捕獲量の現状や人工ふ化によるサケの回帰について説明を受けました。説明時、木戸川を遡上してきたサケを目の当たりにした参加者は、時折、歓喜の声を上げながら見学していました。昼食を挟み、次の見学先は天神岬スポーツ公園展望台「みるーる」から眺望する海岸防災林檜葉地区の施工状況を見学しました。そこでは海岸防災林の役割や震災後の復旧方法等について学びました。次に檜葉町カントリーエレベーター及び自動ラック式農業用低温倉庫を見学し、カントリーエレベーターの仕組み、管理方法、放射性物質検査方法について説明を受けました。最後にサツマイモ栽培農家のほ場を訪問し、サツマイモ栽培への取組や収穫方法の説明を受けて、収穫を体験しました。笑みを浮かべながらも土の中のサツマイモが大きくなかなか収穫できず掘るのに苦戦を強いられていました。昼食では、県産野菜（ネギ、ニンジン、ゴボウ、サツマイモ等）や檜葉町6次化商品（ユズサイダー）をメニューに入れ、県産農林水産物の安全・安心・美味しいを実感していただきました。

参加者からは「学校で聞いて知っている施設を実際に子供に見せられたこと。地元でも普段見られない施設内を見られたこと。良かった。」「県の農産物に対する放射性物質検査の基準も高く県外産より安全であることを再認識した。」などの意見がありました。



サケやな場の見学



海岸防災林檜葉地区見学



カントリーエレベーターの見学



サツマイモ収穫体験